

# 第16回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨（案）

開催日時 平成27年10月23日（金）15:00～17:00

開催場所 常陸河川国道事務所 2階 会議室 F・G

## <議事等>

1. 移動性関係議題について
  - 1-1 これまでの検討経緯と今回の論点
  - 1-2 渋滞対策の進捗状況確認
  - 1-3 最新の交通状況による分析
  - 1-4 渋滞対策検討の効果確認
  - 1-5 優先検討箇所の検討状況
  - 1-6 その他
2. 安全性関係議題について



## <主な意見>

### 1. 移動性関係議題について

#### 1-1 これまでの検討経緯と今回の論点

- 特に意見なし

#### 1-2 渋滞対策の進捗状況確認

#### 1-3 最新の交通状況による分析

#### 1-4 渋滞対策検討の効果確認

- 委員長** ○ 今回の検証に用いているプローブデータの時間帯について教えてほしい。
- 事務局** → 今回の資料は7時台から18時台の状況まで分析している。プローブデータは24時間蓄積されているが、一般的に渋滞発生が確認できる昼間12時間を対象に分析した。
- 委員** ○ 山側道路について、新しく開通したことによる渋滞発生が発生していると思われる。上り方向は国道6号と山側道路が合流するため渋滞発生も仕方ないと思われるが、下り方向の原因がわかれば教えてほしい。
- 委員長** → 詳細な要因を把握すべき箇所は実際に計測して分析することも良いと思う。実際に走行する車両の所要時間の安定性を確認することも考えられる。
- 事務局** → 大みか町6丁目交差点は、山側道路開通によりT字交差点から十字交差点に変更しており、その中で何が要因で速度低下しているのか、詳細に分析をしていきたい。
- 委員** ○ 国道6号の大和田町交差点～大みか町6丁目交差点は、通勤時間帯の混雑が指摘されており、データが実態とあっているのか確認してもらいたい。
- 委員長** ○ プローブデータに限らず、他のデータを用いて分析することも進めてほしい。
- 事務局** → プローブデータの補完する方法を検討し、分析を進めていきたい

（次頁に続く）

委員長 ○ 下館バイパスについて、旧道と下館バイパスの合流部で交通渋滞が発生しているが、そのメカニズムを教えてください。

事務局 → 横塚入口交差点の旧道側は、下館バイパス開通によって主方向が旧道からバイパス側に変更となり、青時間比の関係から旧道で速度低下がみられる。開通後も旧道を利用する交通が多いことも想定される。

委員長 ○ 交通量調査等を実施する予定はないのか。

事務局 災害の影響を勘案しながら調査を実施したいと考えている。

委員長 ○ 大宮バイパスは、整備効果が確認できるが、上り方向の静入口交差点で混雑がみられる。

事務局 → 今後、詳細の検討を行っていききたい。

委員長 ○ 現在、静入口交差点付近は事業中区間か。

委員 → 大宮バイパスに関しては、大宮バイパス入口から静入口で4車線化事業を進めているところである。以前は、今回4車線化された大宮バイパス入口交差点付近で交通混雑が発生していたが、開通後に混雑箇所が静入口付近に移動したと思われる。順次事業を進めていきながら、静入口の交差点改良を優先的に実施していききたいと考えている。

委員長 ○ 圏央道に関しては、周辺道路で交通変化が現れていると思われる。

委員 ○ 圏央道の交通量は、計画値より多いのか教えてください。

委員 ○ 事前に予測した交通量と大きくは変わらない。またIC利用交通も予測結果と変わらない。

委員長 ○ バイパス等の効果を整理する際には、バイパス自体に交通負荷が発生していないかを確認して欲しい。また、バイパス等が開通するとアクセス道路等が混雑発生するのは当たり前であり、面的な交通分析が必要である。

#### 1-5 優先検討箇所の検討状況

委員長 ○ 優先検討箇所とは、渋滞状況の確認を順次進めていく場合にどこからはじめるべきかという議論か。

事務局 → 288箇所を選定した時点で既に対策事業中の箇所もあったので、未対策箇所について絞り込み、検討箇所を整理していききたいと考えている。

委員長 ○ 優先検討箇所には、交差点改良等の小さな対策でも改善が見込まれるところも多いと思われる。メンバーの方も状況を理解している交差点があると思うので、委員の皆様は汗をかいていただきながら、対策検討を進めていくことも良いと思う。

(次頁に続く)

委員 ○ 優先検討箇所として、国道 6 号では水戸と土浦に集中しているが、日立や石岡も渋滞しており、他データ等も使いながら検証してもらいたい。

事務局 → 今回は、プローブデータを用いて 12 時間の旅行速度で確認しているが、ピーク時間でみると日立市内も確認される。箇所の選定に関しては今後も確認していきたい。

委員長 ○ つくば市内では、つくばエクスプレス開通に伴う開発により 10 年前とは交通状況が変化している。このような箇所での交通状況の変化も踏まえ、検討してほしい。

委員長 ○ 主要渋滞箇所の見直しは今回 1 箇所のみであったが、今後どのように整理していくのか事務局の意見を伺いたい。

事務局 → 主要渋滞箇所は、データでの整理やパブコメ等によって住民の意見を伺い特定している。

渋滞に対する感じ方はそれぞれの住民で異なるが、パブコメ等で寄せられた箇所はプローブデータで速度状況を確認した上で選定している。今回は 288 箇所について検討優先順位のふるい分けを行ったが、今後はそれぞれの道路管理者と調整を図りながら渋滞対策を進められる箇所の絞り込みを行いたいと考えている。

委員長 ○ 安全性で示されている箇所も、計画は整理しているが、まだ実施できていない箇所もある。移動性で示す箇所も、まずは計画を整理していくことが必要と思う。

事務局 → 移動性と安全性がリンクしている箇所もあるので、安全性とあわせて対策実施することも可能と考えており、整理を進めていきたい。

## 1-6 その他

事務局 ○ 国土交通省では ETC2.0 データを新しく整理しており、大洗地区等の交通状況や利用経路の分析等に活用予定である。これらの分析結果は今後の検討会で示していきたい。

委員長 ○ 水戸都市圏渋滞対策プロジェクト会議の動向について教えてほしい。

事務局 → 水戸都市圏渋滞対策プロジェクト委員会や日立市渋滞・安全対策検討会については、本日の委員会での方向性を踏まえて、今後開催に向けて進めてまいりたい。

委員長 ○ 鹿行地域や県西地域など、色々な問題を抱えている地域もあるので、他の地域も含めて検討を進めてほしい。

## 2. 安全性関係議題について

事務局 ○ 安全性関係は、現地診断を実施する予定である。  
○ 診断する箇所は、安全性の議論を行った箇所を選択する予定である。

以上